

講習会名 2021年度 関東RT研究会_ミニ講習会		
内容 Q&Aおよび講師からのメッセージ		
講義番号	講義名	講師
4	線量計セットアップの基礎知識(固定ファントム編)	国立がん研究センター東病院 大吉 一
	* 講師からのメッセージ	たくさんのコメントありがとうございました。 皆様のコメントが明日からの励みとなります。 今回の講習会が皆様の業務の一助になれば幸いです。
6	3次元半導体検出器の取り扱いー O型・X型の各特色につ	杏林大学医学部付属病院 水野 将人
	(質問) 大変勉強になる講演、ありがとうございます。当院でも ArcCheckを使用しています。ArcCheck検証では、Pass 率に線量率が依存すると考えています。 当院では4種類の線量率でキャリブレーションを行い、検証時に一番 Pass率の高い線量率を採用していますが、水野先生の施設では、どの様に行っているでしょうか？ また、検証結果が介入レベルとなった時は、どの様な対応をしているのかお教え下さい	(回答) ご質問ありがとうございます。当院では ArcCheckでの検証を現在行っておりませんが、おそらく用意していなかったと思います。参考にさせて頂き、検討させて頂きます。許容から外れた場合は、人的な設定ミス(設置、設定など)を確認し、問題が見つからなければ Re-Planを行います。照射部位や OARの線量も考慮し、多少外れてもそのまま照射する場合がありますが、基本的には Re-Planする方針です
	* 講師からのメッセージ	このような機会をいただきまして有難う御座いました。準備する上で2社を比較することが難しかったですが、基礎に立ち戻ることができ、自分自身にとってもいい機会をいただけました。拙い発表でしたがお聞きいただき有難う御座いました。
8	各照射技法のプランニング 作成手順	茨城県立中央病院 篠田 和哉
	* 講師からのメッセージ	治療計画を知ることで、その患者さんが今回放射線治療を受ける目的に応じた照射技術の提供が可能となります。例えば、根治？緩和？ピンポイントで照射する？などといった情報から、許容される精度と照射に要求(許容)される時間などの制約を考えることで、効率良く確実に照射することを実現できるということを意味しています。また線量分布の確認は、位置と体内線量の再現性をどのように達成させるか？を考えるうえで重要な行為です。今回の講義にてお話したように、ビームの入射方向と射出方向に着目することで安全かつスピーディーに患者さんの治療を実施することができるといえます。今後も治療計画に関する講義を取り入れていければと考えております。またの受講をお待ちしております。
9	放射線治療におけるペイシエントケアー看護師の目線から	筑波メディカルセンター病院 小泉 綾香
	* 講師からのメッセージ	講義を聞いてくださり、本当にありがとうございました。 数ミリの世界を正確に求めて照射して下さったり、照射患者さんの時間管理、治療全体の運営、残業も多く休日を返上してまでも装置の管理などを徹底して下さる貴重な技師さんの存在をもっともっと患者さんに知って頂きたいですし、素晴らしい方々だと思って治療を受けて頂きたいと思っております。是非患者さんと仲良くなってください！ 機会がありましたら、副作用とケアについてもお話しさせていただきたいです。 ありがとうございました。